

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## カジノより福祉・教育に 府議会開会日行動に150人



府庁周辺をパレードしました



9月27日、9月定例大阪府議会が開会しました。開会日に合わせて、大阪労連や民主団体でつくる府民要求連絡会は、府庁前の大阪城公園内広場でランチタイム集会を開き、集会后、府庁周辺を一周するパレードを行いました。参加者は約150人でした。

### 新たな事実が明るみに出ている「森友疑惑」

ランチタイム集会で、開会あいさつを行った大阪労連の川辺議長は、カジノ反対は多くの大阪府民の声。府民の願いが少しでも前進するよう、まともな行政に転換するため奮闘しなければならない」と述べました。

連帯あいさつを行った、森友学園問題を考える会」の代表は、8億円値引きの根拠とされたゴミは無かった財務省もそのことは分かっていた「1.3億円程度」という売却金額に合わせてゴミ撤去処理費の見積もりを行っていた。格安の売却金額や異例の10年分納などは全て財務省側がルールを敷いていた等、新たな事実が次々と明るみに出ていることを告発しました。

また、住みよい堺市をつくる会の丹野事務局長が、堺市長選挙での支援の感謝を述べ、堺の市民が一度にわたって拒否をした、大阪都構想について、大阪市をつぶすだけで何のメリットがあるのか、「大阪都構想は百害あって一利なし」と府民に明らかにしていきたい」との決意を語りました。

### 長野北高校と柏原東高校の存続を

リレートークでは各団体の代表4人が発言しました。大阪難病連は、これ以上医療費の負担が増えたら病院にも行けない。病気に苦しみ、先が見えない生活を送っている仲間がいっぱいいる。大阪府は、障害者難病者、内部障害者、慢性疾患患者を切り捨てないで福祉医療費助成制度を拡充してほしい」と訴えました。

大商連（大阪商工団体連合会）は、「私たちの思つことと反対のことをどんどん進めている」と今の政治のあり方を批判し、「色んな要求を皆さんと一緒に実現するためにこの国を良くしていきたい」と訴えました。

「大阪の高校を守る会」は、「大阪の教育環境をきちんと元に戻すためにこれからも頑張っていきたい」と述べ、長野北高校と柏原東高校の廃校は絶対に阻止したい。大阪府教育委員会は子どもを自に向けていない。これは大きな問題だ」と訴えました。

### 補正予算案で万博誘致費用を1億5千万円増額

開会本会議で議案説明した松井知事は、大阪関西西日本の持続的な成長の重要な仕掛けだとして推進することを強調し、総額2億円のうち1億5千万円を万博誘致費用の増額分が占める補正予算案を提案しました。大阪都構想についても、府市バラバラで大阪が沈滞していた時代には後戻りさせないと、来年度の住民投票への執念を示しました。

さらに、大阪府立大学と大阪市立大学関係者への十分な説明合意も無いため、両大学統合についての議案も提出されませんでした。また、万博関連の予算や議案を集中的に審議するため、府議会に、万博誘致特別委員会を設置することが、賛成多数で決まりました。



原子力規制委員会が東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の前提となる審査書案を了承しました。東京電力は原発事故を引き起こした当事者であり、事故原因究明も収束も除染もできていません。また、賠償は途中で打ち切り、廃炉の見通しすら立っていない状況です。そういう会社再び原発を運転する適格性があると判断されたのです。傍聴席からは抗議の声も上がりました。これで規制委員会の審査に「合格」した原発は、福井県的美浜・大飯・高浜、愛媛県の伊方、佐賀県の玄海、鹿児島県の川内に続いて7カ所となり、高浜・伊方・川内はすでに再稼働しています。

今回「合格」した柏崎刈羽原発6・7号機は、福島第1原発と同じ沸騰水型です。この型は、経済効率性を追求した結果、炉心核分裂反応が起きてエネルギーを発生する部分の大きさに対する発熱量が極度に高いことが特徴です。そのため、運転停止直後に冷却できないとすぐメルtdown（高温になって核燃料が溶ける現象。原子炉事故で最も危険）に至ります。専門家からは、事故が起きやすい欠陥商品だとの指摘もあり、そんな危険性を持つ沸騰水型が「合格」したのも今回が初めてです。

また、柏崎刈羽原発は軟弱な地盤で、敷地内の断層が活断層の可能性があるので、地元の研究者や市民団体が指摘しています。再稼働には地元の同意が必要ですが、新潟県では、福島第1原発事故の検証などを進める県独自の委員会が設置されており、米山知事は、検証が終わるまで、再稼働の議論をするつもりはない。検証には3〜4年かかる」と述べています。

# 子どもたちに「核兵器のない平和で明るい未来」を

## 第63回日本母親大会

8月19日～20日、岩手県で第63回日本母親大会が開催され、2日間で全国からのべ1万7000人が参加しました。1日目の分科会では子ども問題をはじめ、教育、くらし、権利、女性平和などについて討論が行われ、特別企画「石川啄木・宮沢賢治と憲法」には大ホールに入りきれない人たちが集まりました。2日目の全体会では、母親大会で初めて開催地の知事と市長が参加し、母親大会の意義が語られました。大障教女性部から2人が参加しました。

政治を変えないと原発ゼロにはならない

「原発ゼロの日本を目指し

て」の分科会では、福島からの問題が提起された後、各地の活動が報告されました。福井県や九州の原発再稼働については反対運動を続けてはいるものの、多くの住民は原発補助金で公共事業が行われている事実がある中で、発言できなくなっている現状があると

防災組織に女性の声の反映を

「人間の復興担う女性たち東日本大震災から学び生かすこと」の分科会では、当時の避難や支援の状況について意見が交わされました。宮城県名取市閉上地区では、震災当日の夜7時まで防災無線が鳴らず、多くの方が亡くなって現在裁判が続いています。小さな子どもがいるなどで避難

は支援物資が届かないという問題もありました。また、避難所のトイレに洋式便座をかぶせたら戸が閉まらなくなり、カーテンをつけようという話になった時には、こんな時に見る奴はいない」と怒鳴る男性もいましたが、結局はみんなて話し合うことが大切だったという報告もありました。

その中で、行政は、被災者が100人いておにぎりが9個で1個足りない場合は配らないという話や、「被災者が欲しい物を欲しい数だけ」という活動の中で「ビューラー(まつ毛をカールする道具)を望む方に、迷ったが差し入れると大変喜ばれ笑顔が戻った」という話が印象的でした。ニーズを把握して支援

することが大切さや、日頃から防災組織や行政に参画して女性の声を反映させることの大切さが確認されました。

シリアで安田さんが感じられたこと シリアの人は日本人に握手を求めてきます。それは日本が戦後72年間でこの国も攻撃せず、どこの地域の人も殺していないから。この信頼を一瞬にして失うのが続いているのか、これからの私たちにかかっています。そしてシリアの人たちから「自分たちを一番苦しめるものは何か」と問われました。その答えは、貧しさでも空腹でもなく、世界が自分たちに思い

世界に発信する大切な役割

全体会の記念講演はフォトジャーナリストの安田菜津紀さんのお話でした。カンボジアにはいまだに推定400万個の地雷があり、除去するにはまだ100年かかること、お世話になっているおじさんが地雷を2度も踏んで両脚を失っても、妻がそばにいてくれたから自殺を思いとどめられたなどの話がありました。

せると、7万本の松林と共に過ごしてきた者にとってはつらい写真でしかない」と言われて自分が何のために写真を撮ってきたのかを考えさせられたそうです。それはシリアに行つて戦場や難民の様子を撮っている時と同じでした。しかし、現地の方に「これは役割分担なんだ。ここで何が起きているか、どんな助け

があるのか、世界に発信してほしい」と言われ、一人ひとりが尊い役割を果たしていることを確認できたそうです。

信頼が続くかは私たちにかかっている

を寄せてくれないこと、つまり無関心。安田さんのお話は、その優しく心地よい声の中に込められた力強さが感じ取られ、会場にいた人の心の奥に響きました。何よりも震災が風化してしまうことへの警鐘であるように感じました。



全体会の様子

科会では、このように公表されていない事実が多いことがわかりました。日本の政治を変えないと原発ゼロにはならない」という発言が印象的でした。

### 分会紹介

#### 第8回

分会名：堺支援学校分会

分会長：兔内香保留

障害種別：知的・肢体

児童生徒数：230人

どんな分会? : 今年の7月31日、2019年の世界文化遺産の登録をめざす候補として、国内から「百舌鳥・古市古墳群」がユネスコ(国連教育科学文化機関)に推薦されることが決まりました。その代表的な古墳である国内最大の前方後円墳「仁徳陵古墳」の隣に、堺支援学校があります。

これまで分会を支えてくださったベテラン組合員が一気に退職されるといふ厳しい中ではありますが、少数精鋭(声援?)でがんばっています。